

8月9日、11~14日、18~20日 柴崎市民体育館、武蔵野高校、エスフォルタアリーナ八王子

2020 Tokyo Thanks Match

主催：東京都教育委員会、東京都高体連
主管：東京都高体連卓球男子・女子専門部
種目：男女団体、男女単 取材：8月20日



全文・大会結果はニッタクHPへ！

東京都

たけうち ともひさ
平雅行
東京都高体連
卓球男子専門部委員長
東京都立小川高等学校



卓球を通じてつながりを増やしてほしい

4月の終わり、インターハイ中止のニュースがありました。私の思いを伝えられなかったので、東京都高体連男子卓球専門部のホームページに文章を掲載しました。書いた言葉が「疾風に勁草を知る」です。激しい風が吹いたときに本当に強い草が分かる。今回の状況に当てはめると、本当に困ったときに本当の人間性が分かるという意味になります。

ただ、その時には夏の地区別大会と多摩地区大会は開催できないかと思っていました。約1か月後に8月いっぱいまで大会ができないという通達が東京都高体連からあり、これで本当に何も無いと思いません。またホームページに文章を掲載しました。

高体連の常任委員会で、検討し

た結果、他県の状況を見て、各専門部の判断で代替大会を行いました。

卓球の場合は、たまたま会場を私学大会や国公立大会で確保していたので、開催に踏み切りました。

開催にあたり、まずは「安心・安全」が第一です。私も委員長になって1年目なので、前委員長の筒治和則先生(福生高校)をはじめ、多くの先生からお話を聞き、準備を進めました。

参加者数の問題があり、まず各学校にアンケートを取りました。その結果をもとに3年生は希望者全員、1・2年生は、各学校4名以内という参加制限を設けました。また、渡辺孝慈

先生(大田桜台高校)の考案を採用して、入場の際にQRコードを読み取り、出欠確認を行いました。高校生はスマホ慣れしているので、出欠確認の時間が削減でき、

密も避けられました。

東京ならではの思い、山中秀明先生(明大八王子高校)と私の案でボールに「疾風勁草」と文字を入れ、参加記念に渡しています。

出欠確認は密を避けるためQRコードで



一番は、大会を開催できたことを、本当にうれしく思っています。

「大会を開いてくださり本当にありがとうございます」と多くの先生から感謝の言葉をいただいたことは、励みになりました。

私もずっと卓球をやってきた人間なので、卓球を通じて学ぶことは非常に多いです。卓球は一生できるスポーツですし、卓球を通じて仲間を増やして、つながりを大事にしてほしいと思います。

疾風勁草
2020 Tokyo
Thanks Match
参加記念

参加者には「疾風勁草」と書かれた記念ボールを贈呈